

市政記者各位

令和8年7月21日
福岡アジア文化賞委員会事務局

2026年
第36回 福岡アジア文化賞 授賞式・市民フォーラム

参加申込受付開始!

今年の福岡アジア文化賞の授賞式・市民フォーラムを、以下のとおり開催します。
併せて、授賞式および市民フォーラムの**参加申込受付を開始します。いずれも参加無料です。**
ぜひ多くの市民の皆さまにご参加いただきたく、周知へのご協力をお願いします。

■授賞式

受賞者が一堂に会し、受賞スピーチと功績紹介を行います。その卓越した業績をご紹介するとともに、芸術・文化賞受賞者のピチェ・クランチェン氏によるパフォーマンスも披露されます。



■市民フォーラム

受賞者が、それぞれの専門分野をテーマに、映像、研究、舞踊など多彩な切り口から、アジアの新たな魅力や視点に出会えるフォーラムです。



プログラム		会 場	日 時	申込締切
授賞式		福岡市民ホール 中ホール	9月14日(月) 18:30~20:00	8月17日(月)
市民 フォー ラム	<大賞> ホー・ツーニエン	福岡市美術館 ミュージアムホール	9月12日(土) 17:30~19:30	9月10日(木)
	<学術研究賞> キャロライン・シー・ハウ	アクロス福岡 国際会議場	9月15日(火) 18:30~20:30	9月13日(日)
	<芸術・文化賞> ピチェ・クランチェン	福岡市美術館 ミュージアムホール	9月12日(土) 13:30~15:30	9月10日(木)

申込方法は、添付のチラシをご覧ください。

■問い合わせ先

福岡アジア文化賞委員会事務局(福岡市総務企画局国際部アジア連携課)担当:徳久、山守
電 話:092-711-4930
メール:fukuoka-prize@city.fukuoka.lg.jp
福岡アジア文化賞ホームページ:<https://fukuoka-prize.org/>



文化賞

アジア

福岡

第
36
回

FUKUOKA
PRIZE
2026



授賞式

9.14 (月)

18:30 - 20:00

福岡市民ホール

(福岡市中央区天神5-2-2)

市民フォーラム

9.12 (土)

13:30-15:30 / 17:30-19:30

福岡市美術館

(福岡市中央区大濠公園1-6)

9.15 (火)

18:30 - 20:30

アクロス福岡

(福岡市中央区天神1-1-1)

入
場
無
料

どなたでも参加いただけます (詳細・お申し込みは裏面へ)

ACADEMIC PRIZE
学術研究賞



東南アジア研究者

キャロライン・シー・ハウ

東南アジア社会の人々に
未来を選ぶ自由を見出す研究者

GRAND PRIZE
大賞



アーティスト

ホー・ツーニェン

アジアの歴史と記憶を
描き出す現代アーティスト

ARTS AND CULTURE PRIZE
芸術・文化賞



タイ舞踊家・振付家

ピチェ・クランチェン

アジア舞踊の伝統を現代と
世界へつなぐ革新的舞踊家

授賞式

同時通訳
日英

9.14 (月) 18:30 - 20:00

福岡市民ホール 中ホール
(福岡市中央区天神5-2-2)

司会

松下 由依 アナウンサー



今年の受賞者が一堂に会する授賞式を開催します。受賞者による受賞スピーチや功績紹介に加え、芸術・文化賞受賞者のピチェ・クランチェン氏によるパフォーマンスも披露されます。

申込期間

7.21 (火) ~ 8.17 (月)

※定員に達し次第受付終了

お問い合わせ先

090-1992-1550 (平日 10:00 ~ 17:00)

E-mail fukuokaprize2026@sametwo.co.jp

ウェブサイトからお申し込みください



市民フォーラム

同時通訳
日英

大賞

ホー・ツーニエン

アーティスト

9.12 (土) 17:30 - 19:30

福岡市美術館 ミュージアムホール
(福岡市中央区大濠公園1-6)

登壇者

片岡 真実 (森美術館館長)

P for Phantoms

(ファントムのP)

東南アジアの歴史に関わる、ホー・ツーニエン氏の過去20年にわたる映像作品を振り返ります。未完の長編映画『Endless Day』(2011年)を起点に『東南アジアの批評事典』、マラヤ共産主義をめぐる作品群や、アジア地域の日本占領期をテーマにした三部作、そして近年のAIを用いた制作も紹介します。



© Kiang Malingue, neugerriemschneider

学術研究賞

キャロライン・シー・ハウ

東南アジア研究者

9.15 (火) 18:30 - 20:30

アクロス福岡 国際会議場
(福岡市中央区天神1-1-1)

登壇者

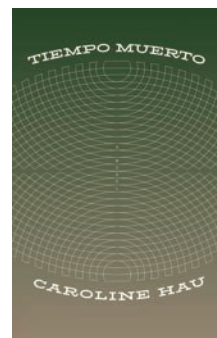
藤原 帰一

(順天堂大学特任教授・東京大学名誉教授)

竹中 千春 (立教大学元教授)

日本のロボットアニメとの
50年にわたるフィリピン人の愛着

前半には日本の生んだ「ロボットアニメ」がフィリピンの人々によって新たな意味を見出され、広く親しまれた事例についての講演、後半はハウ氏が著した小説『Tiempo Muerto』の朗読を契機とした登壇者らとの対話を展開。人々が互いの歴史や経験を共有し、ともに未来を創造する。文化交流の可能性をみなさんと一緒に考えます。



Tiempo Muerto

芸術・文化賞

ピチェ・クランチェン

タイ舞踊家・振付家

9.12 (土) 13:30 - 15:30

福岡市美術館 ミュージアムホール
(福岡市中央区大濠公園1-6)

登壇者

内野 儀

(学習院大学教授・東京大学名誉教授)

横堀 ふみ

(NPO法人DANCE BOXプログラム・ディレクター)

伝統と現代とコミュニティと

ピチェ・クランチェン氏は、タイの古典仮面舞踊劇コーンを深く継承しながら、現代的視点で再構築し、アジアの身体表現を国際的な舞台へと発信してきました。本フォーラムでは、氏と長年協働してきた横堀ふみ氏を対談者に迎え、伝統・現代・コミュニティをキーワードにして、その意義をみなさんと考えます。



©Hideto Maezawa

アジア文化賞アカデミー 音声予習講座

今年度受賞者3名について、各分野のスペシャリストとのラジオ形式による音声予習講座プログラムを配信します。

福岡アジア文化賞公式 YouTube
チャンネルにて8月上旬配信開始予定



申込期間

7.21 (火) ~ 開催日の2日前

※定員に達し次第受付終了

お問い合わせ先

080-7497-6167 (平日 10:00 ~ 17:00)

E-mail 36fprize-pl@sametwo.co.jp

ウェブサイトからお申し込みください

